

一日も早い稼働を目指して

テラデザイン(株)が工場新築の起工式を開催

テラデザイン(株)(本社：米国マサチューセッツ州ボストン)の熊本事業所が、地震により被災を受け全壊した社屋を、現在地の熊本中核工業団地に再建します。その起工式が6月7日に同所で行われました。

同社は、半導体、エレクトロニクス機器向けの自動検査装置の設計開発から製造販売までの一貫生産を行っており、平成29年度中に新工場での操業開始を予定しています。



起工式であいさつを行うマーク・E・ジャギーラ社長

笑顔と元気を届けたい

A S I M O特別授業

本田技研工業(株)主催によるA S I M O特別授業が6月9日に室小学校体育館で行われました。

これは、復興支援の一環として実施されたもので、参加・体験しながらロボットのA S I M Oの仕組みや開発の歴史を学ぶことができる授業です。間近で動くA S I M Oに、子どもたちは興味津々。「ダンスが上手」「こんなに早く走れるなんて知らなかった」と拍手や歓声で会場は盛り上がりました。



子どもたちに「夢に向かってがんばって」と語りかけるA S I M O

苦難を乗り越え再始動

濱田重工(株)の新棟が完成

濱田重工(株)(本社：福岡県北九州市)の新工場棟が完成し、竣工式が5月26日に行われました。

熊本工場は半導体製造工程で必要とされるウェハーの再生加工などを行っており、今回、4つ目の工場棟が完成しました。

竣工式で、松本豊社長は「ウェハー再生の増産に対応し、競争力強化を図りたい」とあいさつしました。



安全祈願を行う松本豊社長

新たな製造工場が町に進出

(株)豊田工業所 企業立地協定調印式

本社を八代市に持つ、(株)豊田工業所が町と工場立地協定を結び、5月31日に調印式が行われました。

同社は、主に高性能林業機械などの製造をオーダーメイドで行っています。杉水地区に工場を建設し、来年4月から操業開始の予定です。式の中で豊田誠社長は「大津町は私にとって初就職をした時の思い出の地。進出できてうれしい」とあいさつしました。



握手を交わす、家入町長と豊田誠社長

父の日に町長へ牛乳を!

「父(乳)の日」に牛乳を

6月18日の「父(乳)の日」にちなんで、JA菊池大津酪農女性部から6月13日に「わが町のお父さん(町長)」に牛乳が贈呈されました。現在、父の日に牛乳を飲む取り組みが全国的に広まっています。同女性部の皆さんは、安心・安全な牛乳を提供するため、毎日頑張っています。贈呈を受けた家入町長は、「毎年、おいしい牛乳をありがとうございます」と牛乳を飲み干していました。



JA菊池大津酪農女性部の皆さん
今年もおいしい牛乳をありがとうございます

被災地の現状 歴史に触れて

復興応援日帰りバスツアー

復興応援日帰りバスツアーが6月16日に開催され、福岡市などから約40人が参加しました。

これは、県が被災地の現状を知ってもらいたいと県外の観光客を対象に行っているツアー。瀬田神社、道の駅大津や南阿蘇村立野地区などを巡りました。瀬田神社に崩落した巨石をご神体としてまつることになった話など、県文化財指導員からの地区の説明に参加した人々からは感嘆の声が漏れていました。



県文化財保護指導員からの説明に聴き入る参加者たち

水田オーナー制度の田植え

(公財)くまもと地下水財団：地下水涵養推進事業

平成29年度水田オーナー制度の田植えが6月3日に真木地区の水田で行われました。これはくまもと地下水財団が協力農家と地下水涵養推進のために毎年行っているものです。当日は、町内外から約150人の参加がありました。

参加者は「地震で去年は参加できなかったが、今年は参加できてうれしい」と笑顔でした。



暑い日ざしの中、植えていく参加者の皆さん
水田にたまった水が浸透し地下水になります

子どもたちの未来に自信と誇りを

企業E X P O～未来へつなぐたからいち～

大津町、合志市、菊陽町、西原村の企業などを集めた企業E X P Oが6月4日、町生涯学習センター駐車場で行われました。これは子どもたちに地域で活躍する企業を知ってもらいたいと東熊本青年会議所が主催で行ったもので、乾燥野菜工場、農機具メーカーや医療機器メーカーなど地域を支えるさまざまな企業が出展しました。同日、文化ホールで「地域創生サミット」と題し、東熊本4市町村長らを集めた公開討論も行われました。



県立技術短期大学のブースのロボットに
子どもたちは大興奮